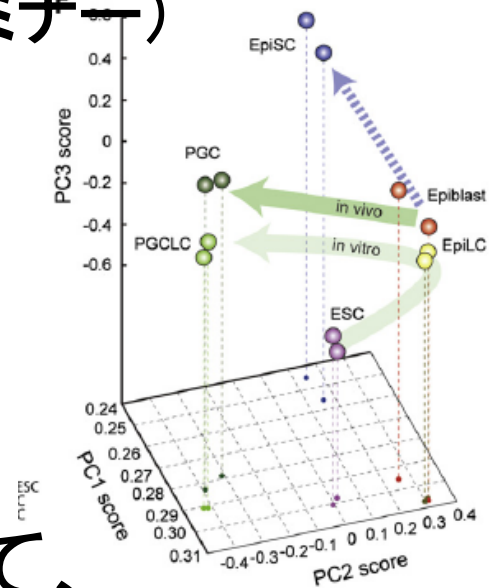


公開講座(配偶子幹細胞制御セミナー)

日時:平成23年11月11日(金)

午後5時~6時

場所:医学部棟2階 A202



生殖細胞の起源を求めて、 そしてin vitro再構成による検証研究

Mechanism and reconstitution *in vitro* of germ cell specification in mice

京都大学大学院医学研究科 生体構造医学講座機能微細形態学

齋藤 通紀 教授

齋藤先生は、マウス初期胚において生殖細胞が出現する分子メカニズムを追及してきた。その成果は、Bmp4, Prdm1, Prdm14などの重要な遺伝子の同定(Nature 2002, Nature 2005, Nat. Genet. 2008)に始まり、それらの情報をもとに再構成したin vitro系においてBlastocystからの生殖細胞の誘導に成功した(Cell, 2009)。さらにrefineした実験系において、ES/iPS細胞から生殖細胞を誘導し、精子産生にも成功した(Cell, 2011)。本講演では、大胆かつ緻密な齋藤先生の研究戦略をうかがうことができると思います。

学生・大学院生・教職員の皆様の参加を歓迎いたします。

新学術領域・配偶子幹細胞制御 共催
問い合わせ先:泌尿器科 小川毅彦
内線2679、MPS6160